



Facebook 配信中!  
今すぐアクセス!!



牧之原市議会だより

第77号

令和7年2月15日発行  
(2025年)

11月定例会号

# かけはし



- 議員10人が市長に問う!(一般質問)..... 5
- 市民から生の声を聞く!(市民会議)..... 15
- 4会場で報告!(議会報告会)..... 16

榛原中学校 コミュニティ・スクール(CS)ミライプロジェクト!



# こどもの居場所条例の 制定に質疑が集中！

## 議案への主な質疑

牧之原市こどもの居場所条例の制定について

放課後等において、こどもが安心して過ごせる居場所を設け、一人ひとりのこどもが、将来の自立につながる力を身に付ける施設として、牧之原市こどもの居場所を設置するため、条例を制定するもの。

## 具体的な内容や方向性は

**問** 休館日と開館時間、施設利用についての具体的な内容、また居場所づくりの方向性が不明確だが

**答** ※こどもの居場所条例施行点で案を示すことは不可能な状態である。事業実施については、こどもの居場所事業実施要綱を別に今検討している。

## 具体的な事業は定めないので

**問** 条例の中に具体的な事業について定めた方が、目的が明確化されると思うが

**答** 本条例は設置および施設管理について定めており、事業については実施要綱として決めていく予定である。今回の居場所については、まず市で運営を行い、内容を充実させていく中で、利用者ニーズや使い勝手に応じて柔軟に対応していきたいと考えている。



※文教厚生委員会における付託議案審査の際に(案)が示されました。

事業内容を固めた上で始めるべきでは

**問** 基本的な部分も含め、事業について内容を固めた上で出発するべきではなかったか

**答** B&G財団からの助成については期限があったため、機を逃さないようにということで申請をし、そこから事業について考えていった形となる。ご意見を参考に今後の事業を進めていきたい。

## 市としての計画はあるか

**問** 設置場所の選定理由が静波・細江地区にニーズがあったからということだが、市全体のニーズに基づいた居場所の設置計画書のようなものはあるか

**答** 今後何年間で、こういった場所に居場所を設置していくかについては、今回のこの事業を進めていく中で考えていくことが必要だと思っている。

## 他の地域への設置は

**問** 今後、こどもの居場所が必要な地域も出てくると思うが、追加で同様の施設を造る可能性も検討するということか

**答** 今後のニーズやあり方によっては、検討に入ってくるかと考えているが、現時点では明確な計画があるわけではない。



椋原児童館(静波区)に隣接したこども第三の居場所

## 11月定例会 補正予算の審査

### ○今回の補正予算の主な内容

- ・保育園 ICT 化支援に係る経費
- ・こども医療費に係る経費
- ・薬師トンネル LED 化工事に係る経費
- ・相良小学校大型提示装置設置に係る経費



市内を運行している  
デマンド乗り合いタクシー

### 一般会計補正予算(第7号)

#### ガバメントクラウドの利点は

デジタル化推進事業費  
情報化推進業務委託料

496万1000円増額

**問** ガバメントクラウドの導入で進むDXはあるか

**答** DXやサービスが突出して良くなることは考えにくいですが、ガバメントクラウドに全国の自治体のシステムが集約されることで、さまざまなシステム連携やベンダー間でのデータの流れなどがスムーズになると予想される。

#### 利用者急増の要因は

##### 交通政策費

公共交通試験運行業務委託料

220万円増額

**問** 今年度のデマンドタクシー利用者が急増したというところだが、その要因は

**答** 年度を通して運行したのが、昨年度からであることと、昨年度に一年かけて、ほとんどの区へ説明を行った。そのような成果もあると考えている。

#### なぜ補正での対応か

##### 茶業振興事業費

産地パワーアップ事業補助金

2億2395万4000円増額

**問** 補正予算での計上となった理由と、補助事業使途の詳細は

**答** 県の補助金が令和6年9月に決定したため、補正予算での対応となった。当事業の受益農家は15軒42haで、勝間田にある工場の生産ラインを煎茶から碾茶に転換し、高付加価値の茶生産に取り組んでいく。

#### 実態に即した調査か

##### 都市計画事業費

都市計画区域関係調査業務委託料

525万8000円増額

**問** 相良牧之原IC北側地区の道路整備が完了していない中で、周辺交通影響等の調査となるが、実態に即しているのか

**答** 現在の交通量等を踏まえ、事業区画周辺の市道など細かい道路網や交差点の交通影響調査をし、その結果に基づき交差点の改良方針を検討していく。



#### 近隣住民の理解は得ているか

##### 静岡広域消防広域化事業費

1億8532万5000円増額

**問** 牧之原消防署椋原出張所の開設について、近隣住民への説明と反応は。また、家屋購入費は開設予定地にある既存の建物の購入に充てるものか

**答** 近隣の町内会に説明し、近くにある安心できる建物が出てくるのがあるが、意見を頂いた。また、家屋購入費については、既存の建物を購入するもので、購入後、改修を予定している。



# 市政を問う!! 一般質問



たにぐち しげよ  
**谷口 恵世**

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



## 持続可能な都市構造構築を

**問** 立地適正化計画について  
20年先を見据えた計画であり、5年ごとの評価以外でも人口分布やまちの変化の状況等、必要に応じ見直す。都市機能誘導区域の設定については、榛原、相良両庁舎周辺および、新しい義務教育学校周辺や相良牧之原IC北側地区の一部を考えている。庁内推進体制は、多岐にわたる関係部署で組織する庁内検討委員会を開催し協議していく。市民の意見は都市再生協議会、地区説明会、パブリックコメント等で取り入れていく。



牧之原市地域公共交通計画



牧之原市都市計画  
マスタープラン



松原公園津波避難複合施設  
「テラッセオレンジトイ」



全国初自動運転  
「レベル4」の路線バス

牧之原市は、少子高齢化と人口減少が進む中で、持続可能な都市構造の構築が急務である。沿岸部は観光資源として期待される一方、津波リスクへの防災対策が重要である。また、市内にはJR駅がないため移動利便性向上が課題となっている。立地適正化計画や地域公共交通計画が、持続可能な都市構造と観光、防災、教育拠点の整備にどのように寄与するかが、未来の牧之原市にとって大変重要である。

**問** 立地適正化計画について

**問** 津波防災と沿岸部の観光活性化の整合性について

**答** 静波地区の沿岸部エリア全体のコンセプト等を作成中であり、国、県等の補助金、民間の資金を活用し、避難施設と商業施設を複合的に整備した事例（伊豆市土肥の「テラッセオレンジトイ」）等を参考に調査し、沿岸部の観光活性化を進めていく。

**問** 地域公共交通計画について

**答** 富士山型ネットワーク山頂部の交通結節点となる高台エリアのバス停の環境整備を進め、榛原、相良両市街地への接続を推進する。静岡空港と道の駅へのバス路線は、空港アクセスバスを接続するよう県と協議中。デマンド乗り合いタクシーの利用者条件の緩和に関しては、バス会社と引き続き協議を続ける。自動運転に関しては、スズキ(株)との連携を図りたい。自動運転に関しての課題は多いが、実証実験の場所としては、空港・高台・道の駅・静波海岸エリアが案として考えられ、業者や県等と打ち合わせを行っている。

## ～議決結果と概要～

### ・11月定例会

件名	結果	概要
報告 専決処分報告について	報告	令和6年4月18日に起きた市道東萩間28号線において発生した事故に対して、損害賠償の額を定め和解したものの。
人事案件 人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	人権擁護委員に「左座真野」氏を選任するもの。
人事案件 人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	人権擁護委員に「河森佳奈子」氏を選任するもの。
条例制定 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	自由刑のうちの懲役および禁錮が廃止となり拘禁刑に一本化されたことから、当該内容について規定している11の条例について一括して改正を行うもの。
条例制定 牧之原市こどもの居場所条例の制定について	可決	放課後等において、こどもが安心して過ごせる居場所を設け、一人ひとりのこどもが、将来の自立につながる力を身に付ける施設として、牧之原市こどもの居場所を設置するため、条例を制定するもの。
条例制定 牧之原市道の駅そらっと牧之原条例の制定について	可決	地域振興、農業活性化、空港を核としたまちづくりの拠点として道の駅「そらっと牧之原」を設置するため、条例を制定するもの。
条例改正 牧之原市営住宅管理条例の一部を改正する条例	可決	令和7年度から静岡県住宅供給公社に市営住宅管理代行業務を委託するに当たり、管理の特例の条文を定める必要があるため所要の改正を行うもの。
条例改正 牧之原市水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	生活衛生等関係行政の機能強化を目的に、水道法等による権限が厚生労働大臣から国土交通大臣および環境大臣に移管されたことに伴い、国土交通省が所管する下水道の設計等に係る資格要件の考え方を踏まえ、水道法施行令および水道法施行規則の一部が改正されることから所要の改正を行うもの。
補正予算 令和6年度牧之原市一般会計補正予算（第7号）	可決	5億3,670万1,000円を増額し、予算額を236億3,509万5,000円とするもの。
補正予算 令和6年度牧之原市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	60万5,000円を増額し、予算額を50億5,130万3,000円とするもの。
補正予算 令和6年度牧之原市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	108万8,000円を増額し、予算額を45億2,398万6,000円とするもの。
変規約 静岡地方税滞納整理機構規約の変更について	可決	税制改正により、森林環境税および特別法人事業税が創設され、構成団体から引き受ける事案に含まれることとなったため所要の改正を行うもの。
報告 専決処分報告について	報告	令和5年11月27日に起きた国道150号において発生した事故に対して、損害賠償の額を定め和解したものの。
報告 専決処分報告について	報告	令和6年10月29日に起きた国道150号において発生した事故に対して、損害賠償の額を定め和解したものの。
その他 財産の取得について	可決	油田の里公園用地として土地を取得するため、牧之原市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき議会の議決を求めるもの。
条例改正 牧之原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	令和6年人事院の給与勧告に準じ、職員の給与月額を平均3%引き上げるとともに、期末手当および勤勉手当の支給月数を0.05月分ずつ引き上げる改正を行うもの。
条例改正 牧之原市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	令和6年の人事院の給与勧告に準じ、特別職の期末手当の支給月数を0.10月分引き上げる改正を行うもの。
補正予算 令和6年度牧之原市一般会計補正予算（第8号）	可決	1,799万3,000円を増額し、予算額を236億5,308万8,000円とするもの。
発議員 牧之原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	令和6年の人事院の給与勧告に準じ、議員の期末手当の支給月数を0.10月分引き上げる改正を行うもの。



# 一般質問

近年、全国的に高齢化が進む中、牧之原市も同様に高齢化率が上昇している。令和6年における高齢化率は33・9%で今後も、年々上昇していくことが予測されている。後期高齢者の人口比率についても令和6年では総人口の18・3%を占めており、今後ますます高齢化が進むことが予測される中、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進するためにどのような施策で取り組んでいくのか。



たねも かずお  
**種茂 和男**

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



## 高齢者が安心して暮らせる社会



フィジカル検定の様子

**問** 高齢者の健康管理への施策は

**答** 単発型だが、体力測定と運動指導を組み合わせたフィジカル検定、各地区の団体の希望により実施している生き生き体操講座や元気アップ体操講座にて、状況にあった生活指導を行っている。

**問** 独り暮らしの高齢者への生活支援は

**答** 市が実施する、緊急通報システム設置事業、配食サービス事業などのほか、有償ボランティアやNPO団体、市民活動による生活支援サービスなどにて日常生活の困りごとを支援している。

**問** 包括支援センターや医療機関との連携は

**答** 認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の早期発見、早期治療を勧め、早期治療への受診や介護サービスへの利用開始につなげている。

**問** 介護施設に入れる要件は。また入所の利用料金は

**答** 要介護3以上と認定された方なら入所できる。一番重い要介護5の方で、ユニット個室で介護報酬、居室代、食費で約16万円となるが、低所得者の方には減免制度がある。市で作成した介護保険のガイドブックには、介護保険料、市の施設の料金などを掲載しており、各庁舎における窓口、さざんかへ来庁いただければ、丁寧な説明をさせていただきます。

**問** デジタルデバイス(情報格差)対策は

**答** スマホの体験教室やスマホ購入補助支援を行い、購入後も操作が慣れない方や団体に、習いたいテーマに基づいたスマホ講座を実施している。



牧之原市介護保険ガイドブック



富士山静岡空港は令和6年6月4日に開港15周年を迎えた。空港候補地が決まった頃から、空港直下を東海道新幹線が通ることから、空港に直結する空港新駅設置に関する構想があり、現在も県による検討が進められている。当市は、公共交通の充実、空港利活用の促進を掲げ、さらなる利便性の向上を期待し進めていくと方向性を出している。そこで、これまでの空港利活用の実績を踏まえ、空港新駅に対する考えを質問した。

**問** これまでの空港利活用の実績と評価は

**答** 東京五輪ホストタウン事業や日中書道交流展都市と友好交流に関する覚書の締結につなげた。国内でも人吉市、小松市との交流を続けている。また、令和3年度4年度に、市内の小中学校が空港を利用して修学旅行、富士山周遊を実施した。今後についても、静岡空港線が新規就航し、訪日需要はさらに増加していくと予想する。

**問** 当市における空港新駅設置の考えと今後の活動は

**答** 首都圏空港の補助空港、広域防災拠点としての観点から、地元市町による請願駅ではなく、国や県が関与する国策として推進する事業と考える。引き続き、県や空港周辺市町との要望活動を通じて、空港新駅の必要性やメリットを地元から発信し、機運醸成を図っていく。

**問** 当該報道についての考えは

**答** 建築物の安全性や信頼性を損ない、起こってはならない事態と認識しており、早期の原因究明と再発防止策、法令順守の徹底や安全対策を求めた。

**問** 企業誘致などは計画どおり進められるのか

**答** 相良牧之原IC北側地区は堅固な地盤で、現時点では、企業誘致等には影響が生じないと考える。引き続き3者で協力、連携しながら、新たな都市拠点の創出を進めていく。

きぬむら ともあき  
**絹村 智昭**

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



## 空港利活用と空港新駅



静岡空港新駅推進ポスター

## 高台開発の進捗状況と今後

「大和ハウス工業(株)が過去に設計、施工を担当した掛川市にある商業施設が、オープンして1年半後に耐震性に重大な問題があるおそれがあるとして、数店舗が閉店、休業となった」との報道があったことから、高台開発の将来にわたる安全について質問した。



上空からの相良牧之原IC北側開発地域



# 一般質問

私たちの生活や社会を良くするためには、私たちの意見を聞いてくれる代表者が必要であり、その代表者を決めるのが「選挙」である。選挙で代表者を選ぶことは、私たちの生活を守り、より良いものへと向上させていく上で大変重要なものである。しかし、全国的に見ても投票率が年々低下している現状がある。投票率の低下という課題の中でも、若い世代の投票率の低下は大きな課題であり、政治への関心、政治的有効性感覚が低いと考えられる。



まつした さだひろ  
**松下 定弘**

質問の様子はこちら  
-動画配信中！-



## 投票率の向上に向けた取り組み

**問** 投票率低下に対する本市の見解と取り組みは

**答** 本市においても、若者の投票率が低い状況があり、政治や選挙への関心が低いことが主な要因と考える。現在実施している投票率向上に向けた取り組みとしては、市のLINEおよびTeaメールにて選挙期日や期日前投票などの配信を行っているほか、18歳を迎えた新有権者へ選挙人名簿に登録された旨を伝えるバースデーカードの発行、高校生に対する選挙出前授業や模擬投票を実施、不在者投票用紙の電子申請による請求の開始などを行っている。また、小中学校向けの啓発としては、選挙啓発ポスター・コンクールを毎年実施している。

**問** 期日前投票所の増設、移動期日前投票所への見解は

**答** 本市においては2カ所の期日前投票所を開設しており、面積や人口分布から適切と考える。また増設や移動期日前投票所の設置については、市民からの要望も無い。ため現時点では考えていない。



コミュニケーションボード例（富士宮市）

**問** 障がいを持つ方への対応は

**答** 期日前投票所では事務従事の職員による対応、当日投票所では場内整理係を配置し、不安や不快な思いをされないよう速やかに声掛けを行い、投票の支援を行うよう職員に周知している。議員指摘の他市で使用されているコミュニケーションボードについては、周囲にいる一般の方へ支援を必要としている状況が分かっているため、予期せず選挙人に不信感を招かせるおそれもあると考えている。視覚障がいの方へは点字による氏名掲示、点字器および投票用紙記名補助具を備えている。今後も誰もが投票しやすい環境整備に努めていく。



心と体の健康管理は表裏一体であり、双方をしっかりと管理していくことが職員の安全と安心、さらには市民の安全と安心につながるものと考え伺う。

**問** 庁舎内でのハラスメントについて

**答** 令和4年4月に職場に止指針を策定し、風通しのよい職場環境づくりに努めている。その体制としては、職員の苦情相談窓口を総務課に置き、事実確認や助言などを行っている。解決できない事案は、総務部長、総務課長、総務課人事係長で構成する苦情処理委員会において調査、対応措置の審議、指導等を行うこととしている。今後も引き続き啓発に努める。

**問** 心と体の安全と安心につながる健康管理について

**答** 職員の健康管理については、毎年の健康診断、または人間ドックのいずれかの受診を指導している。診断結果が再検査等の職員は、総務課に「いつ健診に行ったか」の報告をもらい把握している。ストレスが高い職員の状況は、ここ3年間ほぼ横ばいで大体10%となっている。「第3次健康増進計画」成果は、各事業の数値目標として87項目を設定し、乳幼児健康診査や予防接種の受診率、特定保健指導の終了率など51項目、58・6%が達成している。課題は、栄養バランスのとれた食習慣の確立、運動習慣のある人の割合、睡眠による休養を十分とれている人の割合が少ないなどである。



ななみ かずあき  
**名波 和昌**

質問の様子はこちら  
-動画配信中！-



## 心と体の安全・安心を保つために

**問** 市職員に対するハラスメントについて

**答** 当市でもカスタマーハラスメント事案が一定程度あると認識している。対応として警察への通報や顧問弁護士にも相談できる体制を整えている。令和3年9月には対応マニュアルを作成し、職員に周知した。厚生労働省が一般企業向けに配布した「カスタマーハラスメント対策企業マニュアル」および国の審議会で検討された内容等を参考に当市のマニュアルへと取り入れていく考えである。カスタマーハラスメントを受けた職員の事後ケアとして、相談があれば産業医が対応。研修として模擬訓練も今後考えていかなければならない。不審者に対する対応訓練は庁舎では行ってはいないが、保育園などでは警察の方をお呼びして実施をしている。



ハラスメント対策パンフレット(厚生労働省)



ハラスメント防止ポスター(厚生労働省)



# 一般質問

本市では、令和8年度末までに優先度の高い避難行動要支援者に係る計画、令和9年度末までに、その他の避難行動要支援者に係る計画を作成するとともに、令和9年度末までに全地域で避難行動要支援者の避難訓練を実施することを目指すとしている。そこで、住民による災害時要配慮者の避難行動支援体制づくりを推進するとともに、個別避難計画を通し避難行動要支援者の避難を円滑化するには、どのような取り組みが求められるのか伺う。

**問** 防災教育コーディネーター育成の必要性をどう考えるのか

**答** コミュニティ・スクール・ダイレクターと連携し、地域の人材が防災教育コーディネーターとなって教育活動に参加するよう、学校と地域が一体となった防災教育を進めていきたい。



かとう あきら  
**加藤 彰**

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



## 災害時要配慮者の避難行動支援

**問** 「誰一人取り残されず」に」とは、どういった状態を指しているのか

**答** 地域の方が避難行動要支援者のことを知らなかったために助けることができなかったということがないよう、避難支援から取りこぼすことがないような状態を指している。

**問** 災害時要配慮者避難支援制度の認知度を上げるための取り組みは

**答** 県による本事業の支援として、モデル地区である福岡区で実施された調整会議や避難訓練の取り組みを、分かりやすくまとめた動画作成も進められているので、完成後にはこの動画を活用して理解促進、啓発活動に生かしていきたい。

**問** 別府市のインクルーシブ防災事業の取り入れたい部分は何か

**答** 福祉専門職からの説明を受けて、支援における配慮の具体的な内容について、当事者に確認しながら細部を詰め、個別避難計画を作成していくといった、そういった別府市のよさを取り入れている。

**問** 児童生徒が災害弱者に対する支援者となるような訓練については

**答** 高齢者や障がい者の支援が持つということは、非常に大切なことである。特別支援学校に通う児童生徒が同級生に認識されているということ、それから仲間意識を持っているということは、地域の中で非常に大切だと思っている。



令和6年12月に川崎区で行われた避難訓練の様子

気候変動が世界の異常気象の水準・頻度を押し上げ、災害の多発と経済的損失を招いている。市の地球温暖化対策と今後の温室効果ガス削減の取り組みについて質問する。

**問** ごみ処理については、一人一日当たりのごみ排出量の削減とリサイクル率を高めることが重要である。予定している取り組みはあるのか

**答** 生ごみを減量し、資源化するバッグ型コンポストを使用した取り組みをしている。またリユースの仕組みづくりの検討をしている。

**問** 焼却しないというごみ処理の考え方も必要。今後、老朽化する焼却施設をどうするのか

**答** 御前崎市、牧之原市、吉田町と今後の焼却施設について研究会という形で、今、いろんなケースを検証しているところである。

**問** 有機農業推進について、オーガニックビレッジ宣言が必要ではないか

**答** オーガニックまきのはら事業を推進していく中で、オーガニックビレッジ宣言も必要ではないかと考えている。

**問** 具体的取り組みは何か

**答** 市内のバイオガス発電会社の発酵液とオーガニックまきのはらで作ったバイオ炭と合わせて肥料化を考えている。また来年度、有機米の学校給食への提供において、普通米との差額を農家に助成するという形を考えている。

## 気候危機への対策は

**問** 2027年度からの市の次期環境基本計画には、どのような姿勢で取り組むのか

**答** 産業部門と業務その他部門の脱炭素が重要であり、中小企業には設備更新をしていただくように促し、排出量を減らすことを次の計画には載せていきたい。

**問** 二酸化炭素(CO2)排出量削減の進捗および2030年度に46%削減目標は達成できるか

**答** 2021年度におけるCO2削減は、基準年の2013年度との比較で16%削減された。国における排出削減目標は、実現できないことが明らかになっている。

**問** 手間がかかるがごみ分別を細分化することが必要。掛川市では使用済み紙おむつの資源化の実証実験を始めるとのことだが、このような取り組みも必要ではないか

**答** 紙おむつの資源化は県補助金の関係もあるので、取り入れることができるかどうか注視していきたい。

おおし かずお  
**大石 和央**

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-





# 一般質問

市では新たに榛原・相良の両地域に、2校の施設一体型義務教育学校を設置することを定めた。義務教育学校という大規模な学校施設を建設し運営していく上で、両地域共通の課題と、先行して進めている榛原地域の義務教育学校を進めていく上での地域との課題について伺う。

はまざき かずき  
**濱崎 一輝**



質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



## 義務教育学校の地域との課題

**問** 学校敷地内のボランティア活動について、地域住民だけでなく、現在各学校にあるコミュニティ・スクールの力を借りて、各区や地域で持ち回りにより行っているのはどうか

**答** 今の段階では想定していないが、今度は学区が広がるので、各エリアからご協力をいただき進めていければと考えている。

**問** 勝間田川にかかる竹橋とその先の道路も幅員が狭く歩道がない状況である。通学路の安全性について、インフラ整備をどのように考えているのか



歩道のない拡幅が必要な通学路

**答** この路線は通学路であり通行する車両も多い。道路ネットワークの観点からも重要な路線であり、拡幅等の道路整備が必要であると認識している。しかし、橋梁の架け替えなどにより事業費が多額となり整備期間も長期となることから、今後の市道整備計画の中で実施時期等を検討していく。

**問** 学校周辺の治水対策について、地域住民の人たちを交えて納得してもらえ方法でやってもらいたい。全て決まってから報告だけするようなことはしないようにしてもらいたい

**答** 今年度調査を行い、来年度対策を検討していくが、途中経過も含めて地域の皆さんと話し合いをしていく。対策についても皆さんと考えるながら、最適なものを選択して整備に向け進めていきたいと考えている。

**問** 複数台のスクールバスや保護者の送迎の増加により、交通渋滞や事故の発生も懸念されるが、具体的な対策は

**答** 徒歩や自転車の出入り口と自動車の出入り口を分け、子どもの安全を確保していく。学校敷地内には左折のみで出入りするルールの徹底や、自動車の出入り口をそれぞれ設置。送迎車が敷地内で滞留できる広いロータリーや駐車場を整備し、送迎車から自転車を降ろすことも容易にするなど、さまざまな渋滞緩和対策を講じていく。



水害による治水対策は重要課題

○その他の質問  
ヘルスツーリズムの推進について

災害時における安定した通信インフラは、救援活動や被災者同士の情報共有を支える生命線となると考える。この設備は膨大な予算を必要とせず、導入規模に応じて柔軟に運用が可能であると考えている。

いしやま かずみ  
**石山 和生**



質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



## 災害時の断絶された通信環境

**問** 「スターリンク」のような衛星インターネット技術を導入することで、災害時の通信インフラを確保する取り組みを市として行う考えはあるか

**答** 災害時の通信インフラを確保するために情報伝達や通信手段として有効な手段であると認識している。能登半島地震の際には、発災後7日目に国と県から石川県へ350台のスターリンクが無償提供をされている。今後は、当市に適した大規模災害時の通信ネットワーク整備について検討する。

**問** その7日間に通信が途絶えていても、「安否確認の知らせだけはできる」という環境は、自助でなく公助ではないか

**答** 家族の安否確認をしつかりできるような行うのは自助ということでお伝えしている。



通信衛星のイメージ図 ※スターリンクではない

**問** 1台導入であれば年間のランニングコストは100万円もかからないのではないかと。残念であるがそれでも自助なのか

**答** 役割分担として通信などのインフラは、指定公共機関である事業者がしっかりと整備することだと思う。

**問** ランニングコストは1台いくら

**答** 最低で年間56万4000円。

## 同窓会補助金の導入は

同窓会は牧之原市とのつながりを再確認する重要な機会である。特に市外に住む卒業生が同窓会をきっかけに牧之原市に戻ってくることで、地域との結びつきが強化され、定住やUターン効果が期待できると考える。

**問** 市内で開催される同窓会の補助金制度導入について、市の見解は

**答** 同窓会補助金を交付するのではなく、広く定住やUターンにもつながるような政策の調査を行う。

**問** 同窓会補助金というものを調査してほしいが

**答** うまくいっている実績があれば調べる価値はあると思う。市外の高校へ行った人たちはどうしているかなどを含め、しっかりと調査する必要がある。

○その他の質問  
障がい児福祉計画について



# 市民から生の声を聞く！

総務建設委員会では、所管事務調査事項を「移住・定住人口増加に向けた職住近接施策について」と定めて調査、研究を行っています。  
今回、牧之原市へ移住された方々からご意見を伺うことで、現状を知るとともに課題等の把握を行いたいと考え、意見交換会を実施しました。

【開催日】  
令和6年11月19日  
【参加者】  
牧之原市へ  
移住された方々

総務建設委員会（7名）  
×  
牧之原市へ  
移住された方々（7名）

【意見交換のテーマ】  
● 牧之原市へ移住を決めたきっかけ、理由  
● 実際に住んでみての感想  
● 移住者を増やすためには  
参加者の方々からは、次のような意見が出されました。  
【牧之原市へ移住を決めたきっかけ、理由】  
・ ゆったりとしているところ  
がよ、リモートで仕事ができるという点が良い。  
・ サーフイン等の趣味を気軽に満喫することができる。



意見交換の様子

【実際に住んでみての感想】  
・ 家族向けの賃貸住宅はそれなりにあるが、一人暮らしの物件が少ないように感じる。  
・ 交通の便が悪く、市内の施設への移動が不便である。歩いていける所が少ない。  
・ まちの住み心地はよいが、街灯が少なくて暗い。  
・ 仕事をする場所（会社）が少ない。  
・ 女性の雇用場所が少ない。  
【移住者を増やすためには】  
・ 移住者への補助金の条件が厳しいことから、国や県だけはなく、市独自の支援も必要と感じる。  
・ 沿岸部は道路インフラを整備して、津波や災害対策をしつかり行って避難しやすくしていく。  
・ 空き家情報のタイムリーな更新ができていないので、分かりやすくすべき。  
・ 移住者にとって、気軽に相談できる場所が必要。（相談するところがよく分からない。）  
・ 移住者にとって病院関連の情報が必要。

牧之原市の移住・定住に関する情報は  
こちらからご覧になれます。



市HP「牧之原市移住定住サイト」

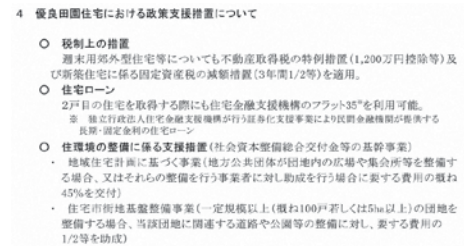
まとめ  
実際に当市へ移住されてきた方が感じていることをお聞きすることができ、新たな視点での当市の魅力や課題について知ることができました。  
提言に向け、今回の意見交換会で頂いた意見や課題等を参考に、さらなる調査研究につとめてまいります。

## 一般質問

牧之原市は富士山静岡空港、東名高速道路、御前崎港など広域交通への結節点を有するとともに、15キロメートルの海岸線や緑豊かな牧之原台地など、住環境としての魅力はすばらしい。地域の魅力づくりは、多方面からの知恵やさまざまな可能性も必要である。空き家対策と魅力的な跡地活用を行い、移住者・定住者の増加につなげたい。

きむら まさとし  
**木村 正利**  
質問の様子はこちら  
-動画配信中！-

## 定住人口増と学校跡地利活用



優良田園住宅制度の政策支援  
(農水省ホームページより参照)

**問** 空き家の増加数およびマッチング状況は  
**答** 令和3年度に実施した空き家の可能性のある1641件を対象とした実態調査では、461件を空き家として特定した。令和6年度時点では455件となつていますが、今後増えていくことが想定されることから、空き家対策協議会を通じて特定空き家などの代執行を視野に進めていきたい。

**問** 牧之原市の公有財産とその利活用計画は  
**答** 公有財産には普通財産と行政財産がある。行政財産とは、公用または公共に供する財産であり、例えば庁舎などが公用、市民の方などが使うような施設で公園、学校などは全て公共用となる。遊休地は、宅地が約9000平米、雑種地が約7000平米あり、今後売上の仕方、処分の方法も考えていく必要がある。

**問** 優良田園住宅制度について  
**答** 今現在、市街化調整区域などの指定が無いため活用できないが、空き家の有効活用を含め住宅施策を進めていきたい。



文部科学省ホームページ参照

**問** 学校跡地利用検討の進捗状況は  
**答** 民間事業者を訪問しながら、今後は具体的な検討をしていく。事業主体は、公募して決定し、事業手法等は、今現在は方向性を検討している。民間の事業者を訪問していく中で、民間の事業者がどのような条件なら使用してもらえるのか、また地元との調整も含めて今後検討していきたい。今の計画では、令和11年度に榛原地区、令和14年度に相良地区でそれぞれ開校となる。そこまでは今の学校があるので、開校前年度に公募によって事業主体を決めていくという考えである。



第1部（議会活動報告）

第1部では、令和6年9月定例会で行った決算審査の報告と各常任委員会の活動報告を行いました。

○令和5年度決算審査報告

- 常任委員会活動報告
- ・ 総務建設委員会
- ・ 文教厚生委員会

第1部の録画映像を議会ホームページにて配信しています。左記のQRコードよりご視聴いただけます。

こちらから確認できます！



第2部（意見交換会）

第2部では、会場ごとに設定したテーマで意見交換会を行いました。議員と市民の皆様との間で活発な意見交換が行われ、さまざまなご意見を頂きました。



ジーボでの議会報告会の様子

皆様より出された意見

テーマ  
若者が自由な職業選択ができるような多種多様な企業誘致をどのようにすべきか

○企業誘致に関して、土地がないため、企業へ土地を提供することや青地の解消をするべき。

○公共交通環境を整えるため、道路整備と交通アクセスの充実や富士山型ネットワークで交通網の強化を行う。

○住みやすいまちとなるよう生活環境の充実を図ること。

○子育て世代への支援として、託児施設の充実を行う。

○税金の優遇策の充実を行う。

テーマ  
あったらいいなこんな住まいの応援サポート

○首都圏にこだわらない移住サポート。

○スタートアップ事業の拡大。

○子どものサポート支援の充実。

○無料のバス・タクシーチケットの配布。

○空き家の改修を行い、移住者へ貸与する。

○古民家の利用補助金。

○Uターンへの支援拡充。

# 議会報告会を開催しました！

令和6年度は実施回数を昨年度の2回から4回へと増やし、市内の4つの会場で議会報告会を開催しました。また、今年度はワールドカフェ形式を用いた意見交換会を実施し、市民の皆様から自由で率直なお声をいただくことができました。4会場で計81名の皆様にご参加いただきました。お忙しいところ、会場へ足を運んでいただき、誠にありがとうございました。

テーマ  
子どもの意見を尊重した  
適切な養育と教育

○コミュニティ・スクールなどの地域の大人と気軽に交流できる場を提供すること。

○公園設備の充実を図る。

○子どもたちが安心安全に集まることのできる場所を提供すること。

○子ども一人ひとりの個性に合った指導方法が必要である。

○通学路の整備を行い、安全に登校できる環境を整える。

○学校再編計画の推進。

○教員不足が教育に大きく関わってくることから、教員のスキルアップ支援等を行うこと。

テーマ  
学びの多様化教育

○子どもが得意としているものを伸ばす教育。

○子どもたちの声をしっかり聴くことが重要。

○少人数教育のあり方をどうするか。

○子どもたちの修学時間の違いに沿った教育を。

○学びの多様性学校を造る。

○身近に通えるフリースクールと、送迎や料金といった課題の解決が必要。

○家庭での生活にスマホなどの影響で会話が少なくなっている。



坂部区民センターでの議会報告会の様子



サーボでの議会報告会の様子

【第1回】

11月1日（金）ジーボ

【第2回】

11月8日（金）坂部区民センター

【第3回】

11月15日（金）サーボ

【第4回】

11月22日（金）榛原文化センター

文教厚生委員会メンバー



総務建設委員会メンバー



アンケートでいただいた  
質問への回答（抜粋）

問  
委員会が政策提言を行っているが当局はどれだけ対応してくれるのか

答  
平成25年から令和6年までで、21件の提言書を当局に対して提出している。令和4年2月に提言書に対する対応状況の報告を受けているが、どの提言内容についても、前向きに検討していただいている。

紙面の都合上、頂きましたご意見の中から抜粋して掲載させていただきます。また、報告会でお配りさせていただいた資料につきましては、議会ホームページにて掲載しておりますので、こちらからご確認ください。

こちらから確認できます！





# 議員勉強会を開催しました!

## 内容①

### 浜岡原子力発電所の状況について ・4号機 適合性確認審査の状況



浜岡原子力発電所に関する勉強会の様子

令和6年11月18日に、中部電力株式会社の方々を講師にお招きし、「浜岡原子力発電所の状況について」と題して議員勉強会を開催しました。原子力発電所の安全対策を取り巻く環境も日々変化する中、市議会として現在の原子力発電所の状況について確認するため、これまでも定期的に同様の勉強会を実施してきました。

今回の勉強会では、「浜岡原子力発電所の状況」や「4号機適合性確認審査の状況」について、詳しくご説明いただきました。

浜岡原子力発電所の立地市（御前崎市）に隣接している本市にとって、原子力に係る重大事故防止へとつながる新規制基準を基にした審査は、市民の皆様にとって重要な内容となります。今後におきましても、浜岡原子力発電所の安全性の確保や取り組みについて注視してまいります。

## 内容②

### 榛原総合病院の現状について

- ・医師、診療科の状況
- ・手術支援ロボット「サロア」紹介、体験会
- ・施設内見学

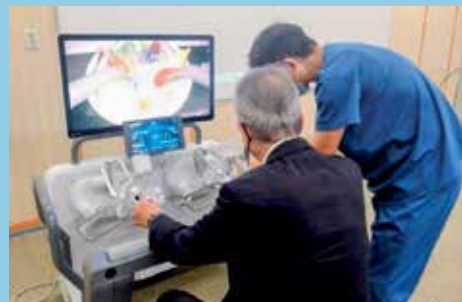


榛原病院での勉強会の様子

令和6年11月21日に、地域医療の中核を担っている榛原総合病院の現状について学ぶため議員勉強会を開催しました。当日は、榛原総合病院の関正之事務長より、医師、診療科の状況についてご説明いただき、その後、八木千乃看護部長よりHCU（高度治療室）、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟などの病棟の紹介をいただきました。

また、県内で初導入となる「※サロア」について、実物を用いて紹介いただき、その後体験会も行っていました。

今後につきましても、サロアを用いた医療体制の拡充と榛原総合病院を含む市全体の地域医療体制のさらなる発展を期待しております。



手術支援ロボット「サロア」の操作を体験する様子

### 用語解説

※サロア 手術支援ロボットであり、手術を行うロボットアームと医師が操作する部分に分かれており、ロボットを通して手術を行うことができる。精密な操作を行うことができ、開口部や傷口が小さく済むなど、患者の負担軽減へとつながるもの。

また、触覚フィードバック機能が備わっており、カメラからの視覚映像のみでなく、鉗子(かんし)を握る力を制御情報から推定し、医師のコントローラーへフィードバックすることにより、医師自ら手術する感覚で手技を行うことができ、より安全で高性能な手術の実現が期待できる。

# 高校生との議会報告会を開催しました!



意見交換の様子

本市議会としては、若い世代の声を聞き取り、若いうちから議会に関与することで、若者の政治への興味を持ってもらうことを目的に、榛原高校および相良高校との議会報告会を開催しました。

当日は、生徒の皆様と議員とでグループに分かれ、学校ごとに設定したテーマに沿って意見交換を行いました。

当日出された意見(抜粋)  
榛原高校(10月29日火)

- テーマ
- ① 移住・定住人口増加に向けた職住近接施策について
  - ② 子どもの未来をつくるための環境整備について
- ※当日は、2クラスで開催し、クラスごとにテーマを割り振りました。

相良高校(1月24日金)

- テーマ
- 若者の声を議会に反映させるためにはサブタイトル
- 議会や議員に対してどのようなイメージを持っているか
- 何をしているのかわからない。
- とても責任がある仕事。
- 議員の意見が多く、何かを決めるのが大変そう。
- 牧之原市を良いまちにするために考えてくれている。
- 難しい言葉で会議をしている。
- 男性議員が多く、また、若い議員が少ない。
- 親近感があまりわからない。
- 議員と直接話す機会が必要。

- 若い移住者への生活費の補助。
- 賃貸住宅への家賃補助を行う。
- 交通の便が良くない。
- 若者が好む商業施設がない。
- 高校生や大学生向けの奨学金制度の導入。
- 大規模な公園の設置・整備。
- 市の施策の積極的なPR。

- 中学生や高校生と積極的に意見交換を行うべき。



相良高校での様子



榛原高校での様子



# 議会防災訓練を実施しました!

市議会では、突発地震災害に際して、迅速かつ的確に対応できるよう、参集および災害対応手順等について確認することを目的に、令和6年12月1日に議会防災訓練を実施しました。

今回は、駿河トラフから南海トラフを震源域とする大規模地震が発生し、牧之原市内において震度7の揺れを観測。建物倒壊や地盤の液状化、火災等が発生し、その後、沿岸部に大津波が襲来したことを想定しての訓練となりました。

近年、多発している突発的な自然災害に対応することができるよう、引き続き、タブレット端末等を含む情報技術の活用について検討するとともに、各議員の災害発生時の対応手順についても確認を行い、議会の危機管理体制の強化に尽力していきます。

## 訓練項目

- タブレット端末を使用した存否報告
- 各自主防災拠点からの参集報告
- 全議員間でのビデオ通話による報告
- 各活動拠点からのコメントおよび写真の送信



ビデオ通話による報告訓練の様子

## 「職員の交通事故防止に関する申し入れ書」を市長へ提出しました!

令和6年12月20日に、市長に対し「職員の交通事故防止に関する申し入れ書」を提出しました。

11月定例会において、公用車運転中の事故による損害賠償に係る専決処分の報告に関する2件の議案が追加上程され、事故の概要を見ると職員の運転操作の誤りや注意不足が原因となるもので大事故につながりかねない非常に危険なものであったことから、職員には、今一度公務員としての自覚を持った行動をとるよう求めるとともに、組織としても職員の事故防止に資する取り組みのさらなる検討および実施を求めるため、申し入れを行いました。

議会を傍聴してみませんか

## 2月定例会の日程

- 2月25日(火) 提案説明
- 3月6日(木) 通告質疑
- 11日(火) } 一般質問
- 12日(水) } ※13日は一般質問者数が
- 13日(木) } 13人以上の場合
- 25日(火) 審議・採決

※当初予算連合審査会  
3月14日(金) 17日(月) 18日(火)

## もっと市議会を知ろう!

### 傍聴する

市議会で行われている会議は全て公開です。



### 録画配信を見る

一般質問はいつでもご覧いただけます。

牧之原市 議会中継  ← クリック

ホームページで本会議や委員会の会議録を見ることができます。



## 今号の表紙

【榛原中学校CSミライプロジェクト!】  
牧之原市のキャリア教育の目玉である「牧之原市未来プロジェクト」は3年生が総合的な学習の時間に地域の方々に牧之原市の未来を盛り上げるためのプレゼンを見てもらい、アドバイスを頂きながら企画をブラッシュアップしていく学習です。地域の方々への呼びかけは、CSDの協力のもと行われました。

### 編集後記

今号から、表紙写真で市内の小中学校のコミュニティ・スクール活動を紹介していくこととなりました。これは市民会議で頂いたご意見をもとに、現委員会でも広報紙改善の検討を進める中で、リニューアルの一環です。今後も市民の皆様と議会をつなぐ『かけはし』として、議会広報特別委員会の活動をより充実させてまいります。  
(谷口)

牧之原市議会定例会(一般質問等)については、ホームページに掲載されています。「牧之原市議会だより」は再生紙を使用しています。